

# 2015年3月期 決算説明補足資料

エンカレッジ・テクノロジー株式会社  
(証券コード：3682)  
2015年5月8日

# 目次

**1.2015年3月期 決算概要**

**2.2016年3月期 業績予想**

**3.2016年3月期 重点施策**

**4.参考資料**

# 目次

**1.2015年3月期 決算概要**

**2.2016年3月期 業績予想**

**3.当社の成長戦略**

**4.参考資料**

## 2015年3月期 ハイライト①

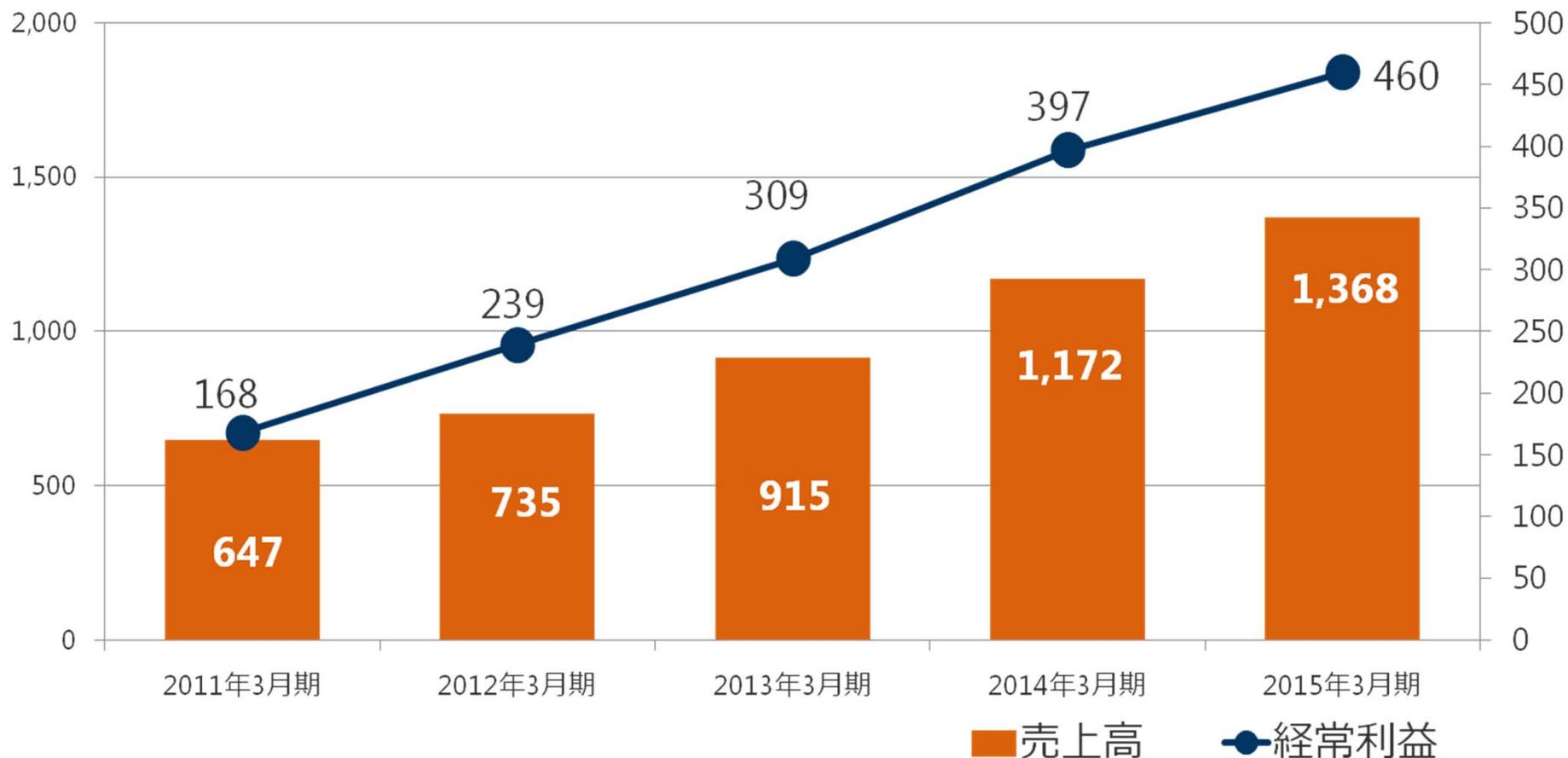
売上高が順調に拡大し、利益も伸長。  
4期連続で増収・増益を達成

 売上高	<b>1,368百万円</b>	(対前期比 16.8%増)
 経常利益	<b>460百万円</b>	(対前期比 15.9%増)
 当期純利益	<b>318百万円</b>	(対前期比 24.9%増)

# 売上高・経常利益の推移

4期連続で増収・増益・経常利益率30%を達成

(単位：百万円)

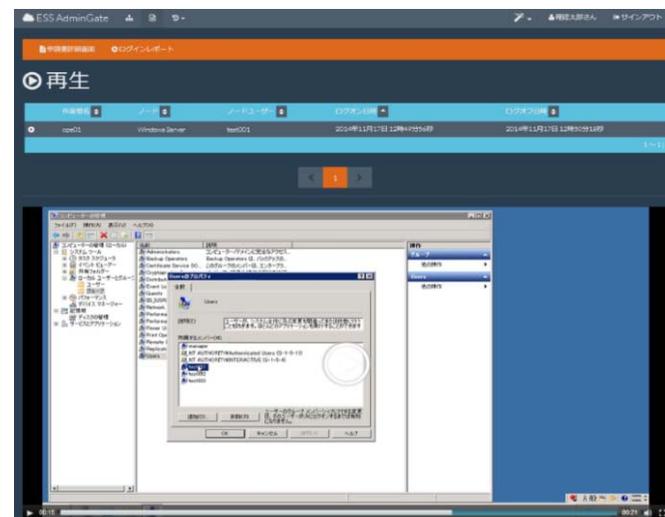


# 2015年3月期 ハイライト②

 **ESS AdminGate(略称：EAG)をリリースし、クラウド型の情報セキュリティ事業を開始**

～今日からはじめるクラウドのシステム管理者セキュリティ対策～

## ESS AdminGateシリーズ



# 2015年3月期 ハイライト③

## 情報漏えい対策機能強化版をリリース

### 特権ID管理ソフトウェア

### ESS AdminControl (略称 : EAC) V1.3 リリース

データベースの特権IDの管理に対応

### システム証跡監査ソフトウェア

### ESS REC (略称 : REC) V5.3 リリース

スマートフォンやタブレット端末の接続を検知

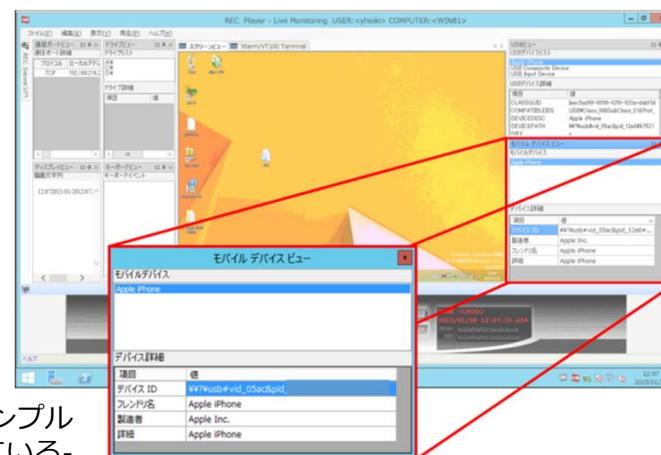


図 : ESS RECの記録データ確認画面サンプル  
 -端末やサーバーに接続されたモバイルデバイスが記録されている-

## 2015年3月期 ハイライト④

第4四半期において、一部企業のセキュリティ対策前倒し案件等売上増及び法人税率の引き下げにより、当期純利益が計画の250百万から318百万となりました。配当性向20%を目処に、前期より

# 4円増配の19円を実施\*

\*2015年6月25日開催予定の第13回定時株主総会に付議する予定です。

# 2015年3月期 通期実績

	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	対前期比
売上高 (百万円)	1,172	1,368	16.8%増
営業利益 (百万円)	412	454	10.3%増
経常利益 (百万円)	397	460	15.9%増
当期純利益 (百万円)	255	318	24.9%増
一株当り当期純利益 (円)	86.78	95.77	10.4%増

# 貸借対照表

(単位：百万円)

	2014年3月 期末実績	2015年3月 期末実績	対前期比	主な増減要因
流動資産 (うち現金および預金)	2,048 (1,889)	2,525 (2,288)	23.3%増	現預金 398 売掛金 63
固定資産	307	201	34.5%減	長期預金 100 (預入期間1年未満により)
資産合計	2,355	2,727	15.8%増	
流動負債	376	458	21.8%増	未払金 25 前受金 20
固定負債	25	25	0.5%増	
純資産	1,953	2,243	14.8%増	当期純利益 318 資本金・資本準備金 20
負債・純資産合計	2,355	2,727	15.8%増	

# 売上構成の推移

(単位：百万円)

構成項目	モデル	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	対前期比
ライセンス	フロー型	266	335	448	563	25.7%増
保守サービス	ストック型	380	441	509	570	12.0%増
コンサルティング	フロー型	45	69	105	106	1.1%増
常駐サービス	ストック型	-	35	67	63	6.3%減
その他		42	33	40	63	55.9%増
売上高合計		735	915	1,172	1,368	16.8%増

# 目次

1.2015年3月期 決算概要

2.2016年3月期 業績予想

3.2016年3月期 重点施策

4.参考資料

# 2016年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	対前期比 (%)
売上高	1,368	1,538	12.4%増
営業利益	454	499	9.8%増
経常利益	460	500	8.6%増
売上高経常利益率	33.6%	32.5%	-
当期純利益	318	329	3.4%増

## 売上構成別 予想（対前期比較）

（単位：百万円）

構成項目	2015年3月期 （実績）	2016年3月期 （予想）	コメント
ライセンス	563	625	・マイナンバー対応を含む法規制強化に伴うセキュリティ対策見直しにより主力製品のESS REC及びEACの販売が底堅く推移することを見込む
ESS REC	407	458	
その他ライセンス	155	167	
保守サービス	570	639	・保守更新率維持及び新規ライセンス売上による増加を見込む
コンサルティング	106	118	
常駐サービス	63	64	
クラウドサービス	6	50	・協業モデルの推進、中堅、官公庁需要の掘り起こしを実施
その他	57	39	
売上高合計	1,368	1,538	

# 目次

1.2015年3月期 決算概要

2.2016年3月期 業績予想

3.2016年3月期 重点施策

4.参考資料

## 2016年3月期 重点施策

ソフトウェアパッケージ事業の拡大

クラウドサービス事業（EAG）の確立

保守サポートサービス契約更新率の維持向上

## 2016年3月期 重点施策

### ソフトウェアパッケージ事業の拡大

セキュリティ対策強化/主力製品の拡張及び次世代対応

- REC顧客へのEACクロスセル
- マイナンバー制度や金融庁検査マニュアル改定による  
セキュリティ対策強化に対応

主要代理店との関係強化

地方有力代理店の開拓

- 地方公共団体の公共システムへの取り組みを進める

## 2016年3月期 重点施策

### クラウドサービス事業（EAG）の確立

DC/クラウド事業者との協業先拡大

-大手事業者との提携および市場創出

地域密着型SI企業との協業モデルを開始

-地方の有力企業・官公庁をターゲットに協議を開始

# 2016年3月期 重点施策

## 保守サポートサービス契約更新率の維持向上

保守更新率を維持・向上させる仕組み作り

- 技術レベル向上による問題解決時間短縮
- 製品の活用度向上の取り組み  
(活用塾セミナーの定期開催)

貴社製品をもっと効果的にご利用いただくための  
**REC/RAA活用塾セミナー**  
 開催のご案内

本館では、経営者に Remote Access Auditor をご利用いただくための「活用塾」を開催し、製品をもっと効果的にご利用いただくための、ノウハウや活用事例も紹介するセミナーを開催いたします。また、講師から直接質問も受け付けます。ご不明な点やご質問も受け付けております。

大切な情報を守ること、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

**こんな課題をお持ちのお客様におすすめです**

- ・ 製品からトラブル発生を避けたいが、やり方がわからない
- ・ 製品が活用できないため、製品活用と活用度向上が難しい
- ・ 購入時からバージョンアップを行っているが、バージョンで機能が異なるのは不便

■日 時 本館は毎月開催いたします。ご都合の良い日程をご選択ください。  
 第1期 2015年1月23日(金) 15:00~17:00 (受付開始 14:30~)  
 第2期 2015年2月20日(金) 15:00~17:00 (受付開始 14:30~)

■プログラム ※内容は予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

時 間	内 容
15:00 ~ 15:25	ESS REC/RAA最新バージョンのご案内 エンカレッジ・テクノロジ株式会社 マーケティング部
15:25 ~ 15:55	製品バージョンアップの進め方と注意点 エンカレッジ・テクノロジ株式会社 サポートサービスセンター
15:55 ~ 16:05	休憩
16:05 ~ 16:45	最新REC/RAAの活用事例および営業サービスの案内 エンカレッジ・テクノロジ株式会社 プロフェッショナルサービス部
16:45 ~ 17:00	質疑応答

■定 員 各回 25名 (お申し込み先着順となります。早めにお申し込みください)

■場 所 エンカレッジ・テクノロジ株式会社 本社 セミナールーム  
 東京都中央区日本橋區三丁目2番1号1F(日本橋三井ビル) 03-5623-2632 (代)

■お申し込み 以下URLからお申し込みいただけます  
 / 弊社ホームページからお申し込み  
<http://www.et.s.jp/customerportal/seminar0501.html>  
 / 最速にお申し込みは下記FAXでお申し込み

■お問い合わせ  
 エンカレッジ・テクノロジ株式会社 マーケティング部 セミナー事務局  
 TEL: 03-5623-2632 (代) / Email: 03@marketing.et.s.jp

# 目次

1.2015年3月期 決算概要

2.2016年3月期 業績予想

3.2016年3月期 重点施策

4.参考資料

# 中長期の基本方針

## ■ クラウドサービス事業（EAG）による市場創出

- 全社売上高の30%を目指す

## ■ 既存製品の統合及び次世代対応

- コスト削減により売上高経常利益率30%以上を加速させる

## ■ 新たな価値創造

- 新製品の開発による優位性の維持・向上

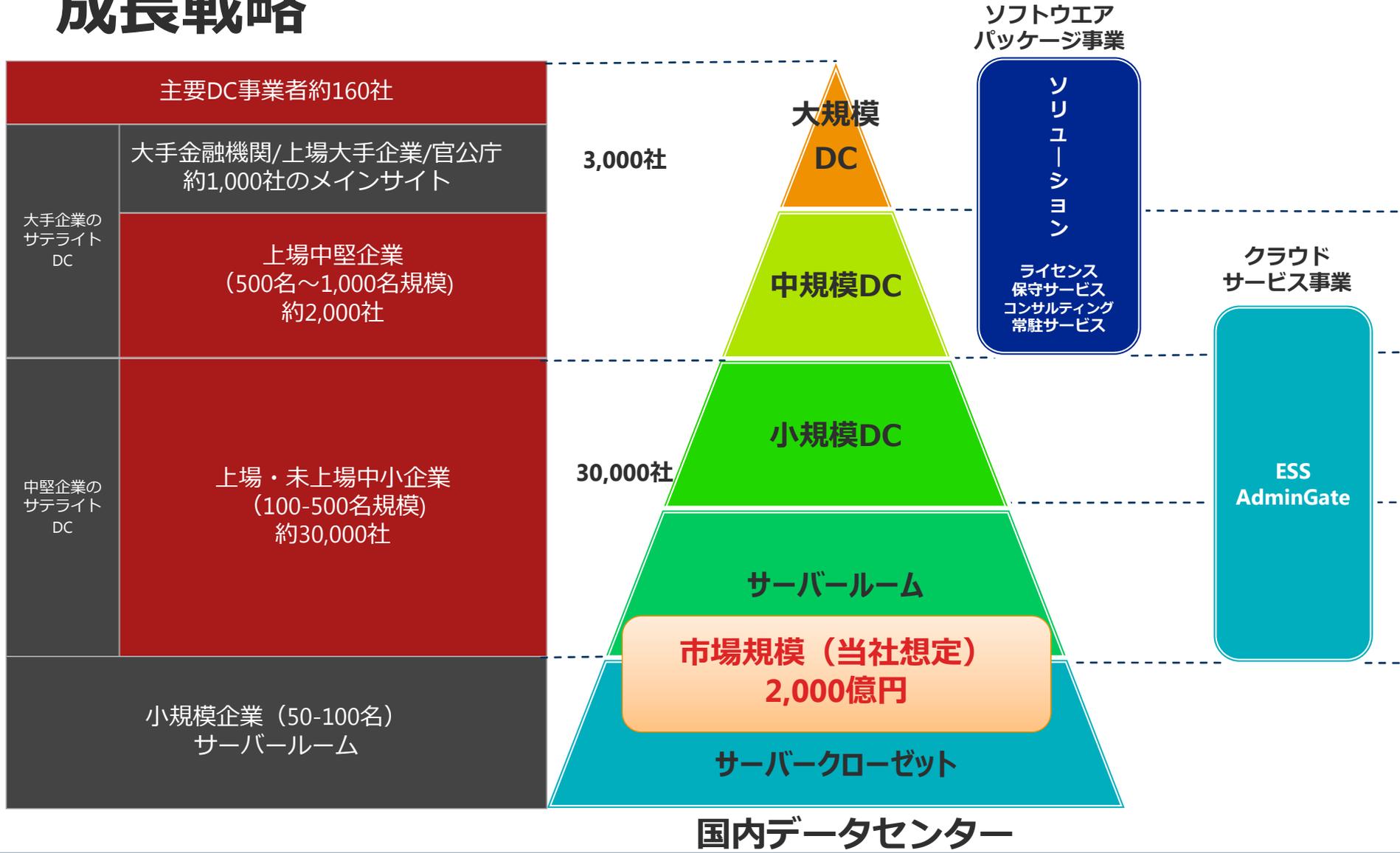
## ■ M&Aによる成長の加速

- 相乗効果のある事業買収

## ■ 株主還元

- 中期目標として、配当性向25%を目指す

# 成長戦略



# 会社概要

セキュリティ対策および内部統制に対応したパッケージソフトソフトウェア開発・販売



**エンカレッジ・テクノロジ株式会社**  
*Encourage Technologies Co., Ltd.* (証券コード：3682)

**所在地：** 東京都中央区日本橋浜町3-3-2 トルナーレ日本橋浜町  
**設立年月日：** 2002年11月1日  
**代表者：** 代表取締役社長 石井 進也  
**従業員数：** 75名(2015年4月末日)  
**決算日：** 3月31日  
**事業内容：** コンピュータシステムソフトの開発・保守並びに販売  
コンピュータ運用管理に関するコンサルティング  
コンピュータ運用管理に関するBPOサービス

## 将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。